

平成23年度

教育に関する事務の管理及び執行の
状況の点検及び評価報告書

小 林 市 教 育 委 員 会

○自己点検・評価の考え方

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴い、平成20年度から教育委員会の権限に属する事務の管理・執行について点検及び評価を行うこととなった。

小林市教育委員会が、地域の教育課題に応じた基本的な教育の方針・計画を策定し、これに即して実施した政策について、政策効果をしっかりと把握し、必要性、効率性等の観点から自ら点検・評価を行い、その結果を公表することは、政策立案を的確に行うとともに住民に対する説明責任を果たす上で重要である。

小林市教育委員会においては、平成23年度分の自己点検・評価を平成24年度に実施し報告を行う。

なお、教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務については、総合政策課でとりまとめている「事務事業評価」を自己点検・評価として代替するものとする。

○具体的な点検・評価の方法

次の2つの項目に分類した。

シート その1 教育委員会の活動

シート その2 教育委員会が管理・執行する事務

※教育委員会が管理・執行を教育長に委任する業務については、事務事業評価を代替として報告を行うものとする。

○重要度・実現度の基準

高 中 低 ↑	実現度				
		→	重要度		
			低	中	高

【重要度】

「高」 非常に重要

「中」 重要

「低」 緊急性は低い

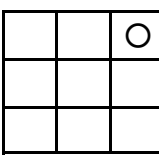
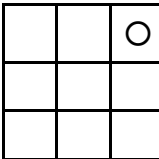
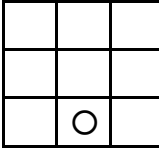
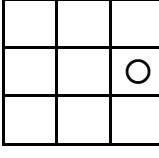
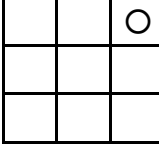
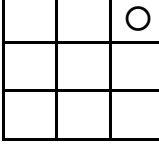
【実現度】

「高」 目的を達成できた

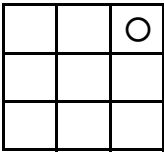
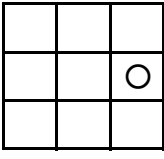
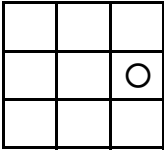
「中」 概ね目標を達成できた

「低」 目的達成には努力を要する

平成23年度 小林市教育委員会の自己点検・評価シート その1

大項目	中項目	小項目	点検・評価	点検・評価
1 教育委員会の活動	(1) 教育委員会の 会議の運営改善	① 教育委員会会議の開催回数	実現度  ↑ → 重要度	定例会については月1回、臨時会については急を要する議案等が生じた場合に開催している。 23年度は、12回の定例会、2回の臨時会を開催した。会議では事務局からの報告件数が11件あった。また、上程された議案は53件であり、教育委員の承認件数は53件であった。 今後も計画的に会議を開催するとともに、小林の教育推進のため十分な議論、検討を行っていく。
		② 教育委員会会議の運営上の工夫	実現度  ↑ → 重要度	定例会、臨時会を問わず、議案・資料等が3日前までに配付されたため、議案の熟読ができて、事前に理解を深めることができた。 また、会議においては、教育委員長自ら議論しやすい雰囲気づくりを進め、相互の意見交換が図られた。 さらには、教育長から毎回教育行政の状況について報告がなされたため委員間の情報共有ができた。 これからも会議の運営改善に必要な方策を講じながら、活性化を図っていく。
	(2) 教育委員会の 会議の公開	① 教育委員会会議の傍聴者の状況	実現度  ↑ → 重要度	教育委員会会議の開催日は告示しており、ホームページにおいても開催を地域住民に周知したが、傍聴者はなかった。 地域住民が会議に参加しやすいような時間（夜間開催など）、場所（地区公民館など）等の検討をしなければならない。
		② 会議録の公開、広報・公聴活動の状況	実現度  ↑ → 重要度	会議録は市情報公開条例に基づき公開しているが、情報公開請求はなかった。 また、会議の概要についてはホームページに掲載し、広く周知を図るようにした。 今後も市報等を積極的に活用し、広報活動を行っていく。
	(3) 教育委員会 と事務局との 連携	① 教育委員会と事務局の連携	実現度  ↑ → 重要度	教育委員会会議には、全部課長、関係職員が出席し、議案・報告案件の説明が詳細にあるため、提案の要旨、議案内容の理解ができています。 また、教育委員会会議以外の場でも日常的に情報交換を行うなど連携を図ることができた。 今後は、教育委員会の活性化を図るためにも、社会教育委員やスポーツ推進委員等の各種委員との連携、意見の交換も必要である。
	(4) 教育委員会 と首長の 連携	① 首長との意見交換	実現度  ↑ → 重要度	教育行政の課題等について、市長及び副市長との意見交換会を実施した。その結果、学校教育、社会教育、スポーツ推進の各分野の施策、事業の進捗状況や課題等を相互理解することができ、予算等に反映させることができた。 教育委員会が地域における教育の担い手としての責任を果たすため、今後も市長及び副市長との意思疎通を図りながら「協働のまちづくり」や「協働の学校づくり」を一体となって推進していく。

平成23年度 小林市教育委員会の自己点検・評価シート その1

大項目	中項目	小項目	点検・評価	
1 教育委員会の活動	(5) 教育委員の自己研鑽	① 研修会への参加状況	実現度  ↑ → 重要度	教育委員を対象とした研究大会・研修会に参加し、教育委員会及び教育委員活動、職務遂行に必要な知識等を深めることができた。県内の教育委員と情報交換等もできたため、有意義な機会であった。 今後も積極的に研修に参加するとともに、近隣市町との合同研修会等の更なる充実を図っていく。
	(6) 学校及び教育施設に関すること	① 学校訪問	実現度  ↑ → 重要度	23年度は、11校の小・中学校を訪問し、児童生徒の学習環境や教職員の勤務環境等の現状、実態把握を行なった。 学校訪問後には、教育委員会会議の中で感想や課題を報告し、教育施策や予算等に反映させることができた。 今後も学校現場の現状や課題等を把握するため、教職員との意見交換の時間を重視するなど訪問内容の見直しを検討していく必要がある。
		② 所管施設の訪問	実現度  ↑ → 重要度	学校施設については、定期的な訪問を行なっているが、23年度から社会教育施設や体育施設等についても訪問を行った。各施設の維持管理、利用状況等の現状を把握することができたため、今後も計画的に訪問を行い、教育施設の適正な管理に必要な施策、事業を推進する必要がある。

平成23年度 小林市教育委員会の自己点検・評価シート その2

大項目	中項目	点検・評価										
2 教育委員会が管理・執行する事務	(1) 教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関する事 こと	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> → 重要度			○							小林市教育基本方針並びに教育施策、小林市教育推進プランにおいて当該年度の施策や事業を示した。 また、小林市教育推進プランについては、23年度からの5ヶ年計画を策定し、各分野の重点施策を設定した。
			○									
	(2) 教育委員会規則及び教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関する事 こと	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> → 重要度			○							23年度は、小林市立学校管理規則の改正ほか規則6本、要綱2本、規程3本の制定・改正を行った。 特に、小林市立学校管理規則は、学校の管理運営の基本的事項について規定しており、その都度見直し、改正を行っている。
			○									
(3) 教育予算その他議会の議決を経るべき議案の原案の決定に関する事 こと	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> → 重要度			○							平成23年度当初予算編成方針を説明し、新年度予算原案の決定を行った。このほか補正予算を含め市議会に付すべき議案原案の決定を行った。	
		○										
(4) 小林市立の小学校及び中学校その他の教育機関の設置、移転及び廃止に関する事 こと	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> → 重要度				○						当初計画のとおり、教育機関の設置、移転、廃止はなかった。	
○												
(5) 県費負担に係る教職員の人事の内申に関する事 こと	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> → 重要度			○							平成24年4月の人事異動に際し、南部教育事務所に職員の内申を行った結果、概ねその意向が異動に反映された。	
		○										
(6) 教育委員会事務局及び学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関する事 こと	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> → 重要度			○							平成24年4月の人事異動に際し、市長部局（職員課）からの職員の人事交流についての協議に対して承諾を行い、その結果が異動に反映された。	
		○										
(7) 教育委員会の所管に属する各種委員会委員の任免、委嘱及び解嘱に関する事 こと	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> → 重要度			○							学校医ほか各種委員等の委嘱17件を、提案のとおり承認した。	
		○										

平成23年度 小林市教育委員会の自己点検・評価シート その2

大項目	中項目	点検・評価										
2 教育委員会が管理・執行する事務	(8) 学校の通学区域の設定及び変更に関する事	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>○</td><td></td><td></td></tr> </table> → 重要度							○			当初計画のとおり、通学区域の設定、変更はなかった。
	○											
	(9) 教科用図書採択に関する事	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> → 重要度			○							教科用図書西諸県採択地区採択協議会において選定を行い、教育委員会において中学校用教科用図書の採択を行なった。
			○									
(10) 小林市文化財保護条例（平成18年条例第115号）による文化財の指定および解除に関する事	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>○</td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> → 重要度	○									市指定の無形民俗文化財であった小林市野尻町東麓の「兵児踊り保存会」を、後継者不足等により活動存続ができないことから指定解除した。	
○												
(11) 請願、陳情、訴訟及び異議の申立てに関する事	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>○</td><td></td><td></td></tr> </table> → 重要度							○			請願、陳情、訴訟及び異議の申立てはなかった。	
○												
(12) 教育委員会が管理する公の施設に係る指定管理者の導入並びに指定管理者の選定及び指定に関する事	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> → 重要度			○							小林市立図書館及び小林総合運動公園市営プール、森永貞一郎記念館については、指定管理者による施設管理、運営を行った。 特に、小林市立図書館は、昨年度より入館者数、貸出冊数が増える等住民ニーズに効果的に対応した運営がなされている。	
		○										
(13) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する事	実現度 ↑ <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td></td><td></td><td>○</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> </table> → 重要度			○							教育委員会が管理・執行する事務に関する報告を事務局に求め、目標に対しての成果や課題等を委員相互に確認、共有するなどきめ細かな点検・評価を行った。	
		○										

総合評価

平成23年度には、平成27年度までの5年間を見通した第2期の「小林市教育推進プラン」を策定し、学校教育・社会教育・スポーツ推進の各分野においての重点施策を設定し、事業を展開してきた。

特に学力向上、家庭・地域との連携による教育力向上、市民体力の向上等を重点とした事業を行い、概ね順調に実施できたが、事業評価を分析し、今後改善、見直し等を行う必要もある。

また、教育委員会の活動については、教育委員会の会議の公開等、引き続き目標達成に向けての改善や教育委員会活性化のための取り組みを行うことが必要である。

知見の活用（同法第27条第2項の規定による）

自己点検・評価シートは、重要度と実現度の2次元マトリックスによる視覚的にも捉えやすく表現した形式がより機能的に改善されており、評価できる。

特に、23年度から「重要度・実現度」の評価基準の見直しができ、向上が見られる。

また、実施したこととその成果・効果を根拠や具体的な事例で示すなど、点検・評価の記述も適切化が図られており、概ね妥当であると判断する。

今後とも継続して、小林市の教育基本方針や小林市教育推進プラン等との整合性を十分図りながら、より有効性や効率性の高い事業が展開されることを期待する。

さらに、重要度「高」で、実現度「中」の項目については、実現度の向上を目指すための工夫・改善も期待される。

宮崎大学名誉教授 宇田 廣文